

TOM'S SPIRIT

スーパー耐久シリーズ 2017
鈴鹿サーキット
2017年6月10日(土)

予選

天候:晴れ



6月10日(土)に、今シーズン第3戦となる予選が、鈴鹿サーキットにて開催された。
今回も、2グループに分かれての予選となり、明日の決勝は今シーズン初となる全クラス混走でのレースとなる。

- Aドライバー松井選手が、1ラップだけの完璧なアタックで、クラストップタイムをマークする。
- Bドライバー蒲生選手は、トップタイムに0.2秒届かずクラス2番手。
- A・Bドライバー合算タイムにより、今シーズン2度目となるポールポジションを獲得する。
- Cドライバー坪井選手は、決勝を見据えた状態での確認作業を行うも、クラストップタイムで予選を終える。

ドライバー	車番	クラス順位	ベストタイム
松井孝允	86	1位	2'21.032
蒲生尚弥			2'21.699
坪井 翔			2'23.354

気温	25.1℃
路面温度	45.5℃



松井孝允【Aドライバー】

チームが用意してくれた車のおかげで、ポールポジションを取る事ができて良かったです。
決勝に向けてもロングランの確認が坪井選手で取れたので、決勝には自信があります！

蒲生尚弥【Bドライバー】

木曜日からの走行で、セッティングも上手くいって、ウェイトハンデがありました、ポールポジションを取れて良かったです。

坪井 翔【Cドライバー】

Cドライバーの予選では、決勝のシュミレーションを兼ねて、ガソリンが重い状態で走って、方向性が見えたので、決勝に向けてのデータ作りができました。その中でも、Cドライバーでトップタイムも取れたので、良い予選になったと思います。

三塚 隆【チーム代表/監督】

金曜日の専有走行時のレースシュミレーションで車の完成度は高く、松井選手がAドライバーのトップタイムを出し、Bドライバーの蒲生選手は若干のミスがあったものの2番手タイムになり、合算タイムでポールポジションを取る事ができました。Cドライバーの坪井選手には、決勝想定での車の最終確認をしてもらい、良いデータが取れたので、決勝も行けると思います。

TOM'S SPIRIT

スーパー耐久シリーズ 2017
鈴鹿サーキット
2017年6月11日(日)

決勝

天候:曇り時々晴れ



数日前までは、雨予報だった天気も曇りとなり、ドライでのレースとなった。TOM'S SPIRIT 86は前戦SUGO大会に続き、見事ポールtoウィン。今季2勝目を勝ち取った。

- 朝8時15分からのウォームアップ走行後に、燃料タンクにトラブルが見つかったが、メカニックの懸命な作業により、決勝スタート時刻に無事間に合わせる事ができた。
- スタートドライバーの松井選手が混戦の中、ペースを上げられず徐々に順位を落としてしまったが、SC導入のタイミングで坪井選手にドライバー交代すると、単独で走れる状況になり、前の車両を順調に抜かして行きクラストップとなる。
- その後、蒲生選手にドライバー交代し、後続に約30秒程の差をつけトップでチェッカーを受けた。

ドライバー	車番	クラス順位	ベストタイム
松井孝允	86	1位	2'24.135
蒲生尚弥			2'24.448
坪井 翔			2'25.080



気温	26.6°C
路面温度	29.9°C



松井孝允【Aドライバー】

自分がスタートで順位を落としたにもかかわらず、相方の蒲生選手と坪井選手、そしてチームのピットワークで優勝する事ができたので良かったです。次戦のオートポリスはウェイトハンデも厳しいので、取りこぼし無く行って、チャンピオンを狙いたいです。沢山の応援ありがとうございました。

蒲生尚弥【Bドライバー】

今回のレースも、チーム皆ノーマスでレースができたので、勝つ事ができました。このリズムで次戦も頑張ります。

坪井 翔【Cドライバー】

セーフティカーが入ったので、予定より早目に乗る事になって、かなりロングステントだったのですが、かなりの台数を抜いてトップにたつてからも20秒以上のリードを広げて蒲生選手にバトンタッチできたので、僕のできる最大限の仕事ができたと思います。S耐で2戦とも優勝できて、この調子でオートポリスも頑張ります。

三塚 隆【チーム代表/監督】

スタートドライバーの松井選手は、想定より上がった路面温度にペースが上がらず、苦戦を強いられた為、予定より短いステントになりました。坪井選手に交代する際、タイヤの内圧を調整しピットアウトしました。その後ドライバーの頑張りでトップに振り返り、最後の蒲生選手にバトンを渡しました。30秒近いマージンを築いたままトップチェッカーを受ける事ができました。連勝できた要因は、ドライバー3人のコミュニケーションも良く、お互いの良い所、悪い所をロガーなどでチェックし合い、研究していった結果だと思っています。